事業報告書

事業の実施状況報告

(1) 九頭竜川流域下水道運転管理業務受託事業

ア 「九頭竜川流域下水道運転管理業務」の受託契約(平成27年4月1日福井県)

対象施設 九頭竜川浄化センター、中継ポンプ場(竹田川、兵庫川、片川、芦原、春江、北潟) 幹線管渠

業務内容 施設の運転操作および保守点検

施設および設備の小規模補修

施設および設備の警備および清掃

汚泥の処理処分

水質および汚泥等の分析

流入水量の計測

イ 流入水量(平成27年度)

区 分	実績 水量	平成26年度実績	前年比
全体流入水量	16,879,607m ³	16, 850, 668 m ³	0.2%增
1日平均水量	46, 119 m³	46, 166 m ³	0.1%減

ウ 市別流入水量(平成27年度)

	供	用開始	流入水量	平成26年度実績
福井市	昭和62年6月		2, 550, 211 m ³	2, 418, 649 m ³
あわら市	旧芦原町	昭和59年7月	2, 556, 101 m ³	2, 540, 422 m ³
	旧金津町	昭和60年10月	1, 687, 949 m³	1, 682, 835 m ³
		計	4, 244, 050 m³	4, 223, 257 m³
坂井市	旧三国町	昭和57年7月	3, 609, 244 m³	3, 634, 094 m ³
	旧春江町	昭和62年4月	2, 910, 192 m ³	3, 022, 214 m ³
	旧丸岡町	平成元年4月	2, 400, 138 m ³	2, 449, 870 m ³
	旧坂井町	平成元年4月	1, 165, 772 m³	1, 102, 584 m³
		計	10, 085, 346 m ³	10, 208, 762 m ³
合 計			16, 879, 607 m ³	16,850,668m³

(2) 下水道技術者養成事業

職員の下水道技術者養成および技術力の向上を図るため、計画的に専門研修への参加や日常業務を通じて下水道維持管理技術者の養成を行った。

<参加した主な研修>

・ 日本下水道協会の各種技術研修 8名

・ 各種団体の技術講習 1名

県内下水道従事者(官民)を対象に研修会を行った。

① 研修名 下水道技術研修会

② 開催日 平成27年9月15日

③ 場 所 AOSSA 607研修室

④ 研修内容 講演「下水道施設運営上でのコスト縮減」

一般財団法人 下水道事業支援センター 下水道アドバイザー 弓倉 純一

発表「放流水の消泡器材による消泡効果に関する調査について」

公益財団法人福井県下水道公社 主事 小林 知晃

⑤ 参加者数 55名

(3) 下水道の普及啓発事業

県民に下水道事業に対する認識や正しい知識を深めてもらうため、次の事業を行った。

ア 下水道の日の広報

9月10日の「下水道の日」にあわせて、県内市町・下水道関連団体と連携して、県内一斉に JRの駅およびショッピングセンターで下水道のチラシ等を配り、下水道の環境への役割や必要 性を住民に PR した。

① 開催日 平成27年9月4日

② 参加団体 福井県下水道協会加盟22団体

公益社団法人福井県下水道管路維持協会 計109名

③ チラシ、粗品配布部数 6,750部

イ 施設見学者への下水道のしくみの説明と処理場内の案内

見学者にパンフレットを配布して下水道のしくみを説明し、浄化センター内の案内を行い、 下水道知識の普及啓発を行った。

<平成27年度見学者> 学校関係 306名(7小学校)

一 般 114名(夏休み水の探検隊バスツアー36名含む)

官 公 庁 6 9名 計 4 8 9名

- ・小中学生を対象に施設見学会を行った。
 - ① 名 称 夏休み水の探検隊バスツアー
 - ② 開催日 平成27年8月3日
 - ③ 場 所 竹田川水車メロディーパーク、龍ヶ鼻ダム、九頭竜川浄化センター 福井県産業廃棄物処理センター、三国太陽光発電所PR館
 - ④ 参加者数 36名

ウ 浄化センター芝生広場の利用

下水道事業の普及啓発や浄化センターのイメージアップを図るため、浄化センター芝生広場を周辺地域住民の運動施設として利用していただいた。

利用期間

平成27年4月1日~平成28年3月31日

② のべ利用者数

4,460名

エ ホームページによる普及啓発

福井県下水道公社ホームページを通して、下水道知識の普及啓発および情報公開を行った。 URL http://www.fukui-swc.jp/

(4) 調査研究事業

- ・消化ガス発電設備の効率的な運転に関する調査研究を行った。
 - ① 調查内容

消化ガス発電設備の燃料である消化ガス発生量を増加させるための消化 タンク設備修繕時期の見直しと季節変動に応じた消化ガス発電設備の運転 台数制御の設定値の最適化について検討した。

- ・平成27年7月30日に東京ビックサイトで開催された 公益社団法人日本下水道協会 主催「第52回下水道研究発表会」において、「放流水の消泡器材による消泡効果に関する 調査について」と題して、当公社職員が発表した。
 - ① 発表者

公益財団法人福井県下水道公社 主事 小林 知晃

② 発表内容

消泡剤に代わるものとして塩ビ管で製作した消泡器材を使用した際の放流水の 消泡効果および消泡剤との効果の比較について報告した。